



『楽しい』から広げる、
『楽しい』が広がるまちづくり
～池田地区のつながりの場を創る～



しろくまLABO



設立目的

池田を、今よりもっと人のつながりのある、やさしく住みやすいまちにしたい！

目 標

池田地区の世代間及び新旧住民間の交流をサポートし、帰って来たい・住みたいと思えるまちにする！

池田の課題とは？

2013・12・21ワークショップ参加者アンケートより

0% 50% 100%

池田居住有

N=17

池田居住無

N=15



- 新旧住民の交流
- 世代間交流
- 住民同士をつながりが薄い

■ ひとり暮らし・独居高齢者の増加

■ 町内が広すぎる

■ 商業者との結びつきが弱い

■ 多様性の受け入れ

■ 荒廃した畑

■ まちの美化

■ 大学や公共施設の活用

■ みんなで池田を好きになること

■ その他

約4割がつながりの薄さを指摘

課題へのアプローチ

課題の原因 → 対処方法 → 結果 → 今後の展望

地域参加のきっかけがない

参加のハードルが低く、楽しい『場』を提供する

『場』に参加して
みることで地域に
目を向けるきっかけになる

主体的に地域に関わる人が増える

新旧住民間・世代間交流の接点がない

いままでつながりのなかった住民同士の交流の接点をつくる

いろいろな人と関わる
ことができるようになる

課題解決のための選択肢が増え、地域の課題解決能力が高まる

しろくまLaBOが考える、 「地域のつながり」10のいいところ

- 1 安心して日常生活が送れる
- 2 地域の情報が早い
- 3 気軽にあいさつが交わせる
- 4 誰とでもフラットに関われる
- 5 『お互いさま』で気持ちよく暮らせる
- 6 視点や立場の違う人同士が学びあえる
- 7 地域の行事が盛り上がる
- 8 非常時・災害時の地域連携が円滑
- 9 災害時の避難所で、いづらくない
- 10 孤独死や虐待などの減少

**顔が見える、普段も何かあった時も
助け合える、住み良くなる**

厚生労働省・文部科学省の 「放課後子ども総合プラン」

（生活の場）
放課後児童クラブ

「放課後子供教室」との一体型推進

放課後子ども教室
（体験活動等を通じ
て生きる力を育む）



平成26年12月5日（金）東京新聞朝刊より

しろくまLaBOは地域と子どもをつなげるコーディネートをします

■地域のニーズ・受け入れ態勢の整備などについて、地元メンバーといっしょに検討を重ねていきたい。

■地域の人といっしょに運営に関わり、コーディネートしていくことで地域とのつながりづくりにつなげていきたい。

まずは、『居場所』の試行を。

しくみの概要

	しろくまの庭 (居場所づくり)	放課後こども教室	しろくまサロン (ワークショップ)
目的	地域の居場所づくり	こどもの社会教育	池田の課題発見
場所	池田公民館	東豊田小学校	池田公民館
参加者	地域住民、イベントに興味がある方	東豊田小学校児童	地域住民、地域課題への関心がある方
運営スタッフ	講座の講師 手作り品販売者	教室の先生(衣食住を生業とする方や昔遊びの講師)	市民ファシリテーター
上段:収入 下段:経費	参加費、出店料 講師への謝礼	補助金 先生への謝礼	参加費 文具、お茶等実費
開催時期	休日	平日の放課後	随時

今後の計画

関わりを広げて
いきたい団体等

今まで

知名度を上げる
(主催イベント、地
域行事への参加)

企画に継続して参
加する人が増える

自治会
SPAC
健全育成会
池田の森 等

3年
後

・居場所の定着化
・既存団体との連
携

住民間のつながり
が生まれる
・地域に参加する
機会になる

東豊田小学校
子ども会
学生
PTA

5年
後

・しろくまの庭放課
後子ども教室の先
生・運営スタッフを
増やす

・つながりが広がる
・地域の活動に積
極的にかかわる人
が増える

地域人材
教育振興会

10年後...地域への愛着が生まれ、つながりのある、あたたかい地域になる